

第5号議案

会費の改定について

- 一般社団法人広島県情報産業協会は前身である広島県ソフトウェア産業協議会の設立以来40年を迎えるが、会費は、平成9年に正会員の会費を一律5,000円から従業員数に応じた額に改定したものの、ほぼ据え置いたままで現在に至っている。
- この間、消費税率は引き上げられるとともに、近年の物価上昇、最低賃金の引き上げなど、こうした状況により、事務局管理費の負担が大きくなってきている。
- 決算資料が残る2011年度からの収支決算の推移は別紙1のとおりである。

会費収入は横ばいから減少傾向であるが、2017年度から総会費を事業費の総務委員会の経費として計上しているにもかかわらず、管理費は人件費の増額等により増大傾向となっており、事業費を削減せざるを得ない状況となっている。
- 会費収入の増額を図るためには、会員数の拡大が重要であり、「ひろしまIT総合展」や「ひろしまITフェス」等を実施し、広島県情報産業協会の周知に努めているが、会員数は伸び悩んでいる。
- 会員にとって有益な事業実施を行うためには、会費の改定をせざるを得ない状況である。
- このため、別紙2のとおり会費の改定を提案する。

なお、増額となった収入は事業費に充当し、有益な事業実施に努める。
- 改定時期は2025年4月1日からとする。